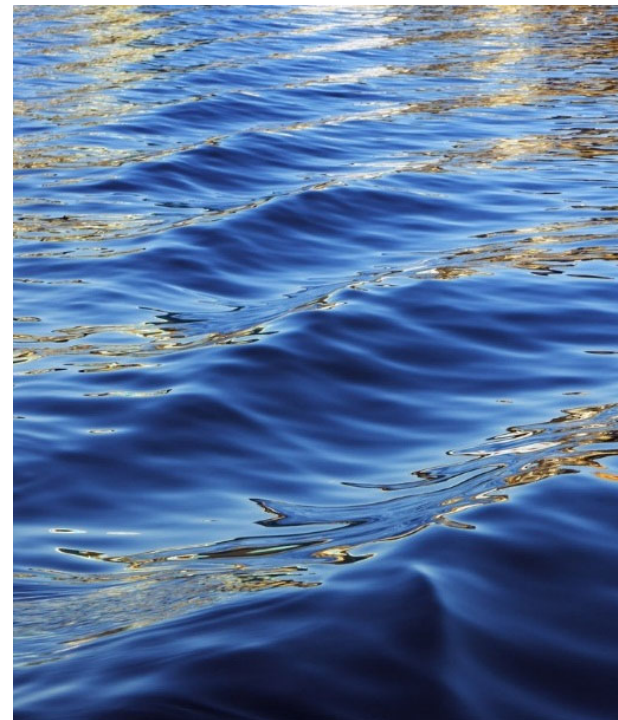




**温暖化防止いわて
県民会議
若者WG提言報告**



第1回 ～勉強会～

ドイツの事例紹介
坂下さん



温暖化の現状と施策の
方向性を勉強



暮らしていきたい社会や興味
深いと思ったことについて、
意見交換をしました！



第2回 ～事例紹介・ 意見交換～

会社概要

岩手道路開発株式会社

【所在地】 岩手県盛岡市東見前3地割29番地1号

【設立】 1974年12月

【代表者】 田村 剛輝

【定款簿許可】 岩手県知事許可 03-003715号

【企業種別】 国土交通省 岩手県 県内市町村 その他

【得意品目及び取扱商品】

工事

○道路/駐車場区画線設置○道路案内含む各種標識/観光案内標識

○津波等災害緊急時避難標識等設置、交通安全施設等設計および施工

○歩道灯、ガードレール、柵欄（横断）防止柵設置

○I（ガードラット）、UAV（ドローン）

販売

○全天候型常備倉庫（スチール・コンクリート）緊急補修材（24時間）

○電線路導線、スチール、油圧器材、防凍剤、環境対策資材及び鳥獣保護区柵

○防火用品やヘルメット・交通安全用品の販売、災害等緊急避難標識

○歩道灯、ガードレール、柵欄、防止柵等の販売

○その他、道路資材各種

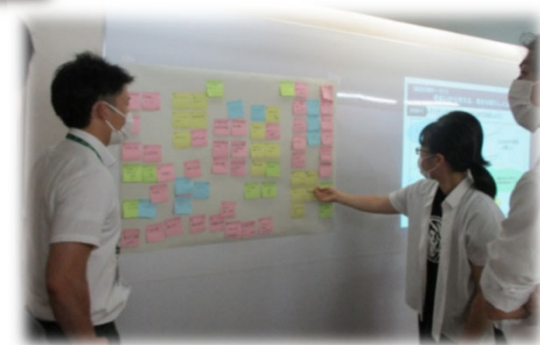


先進事例の紹介

- ・紫波町様
- ・岩手道路開発(株)様
- ・(株)エコ・プラン様

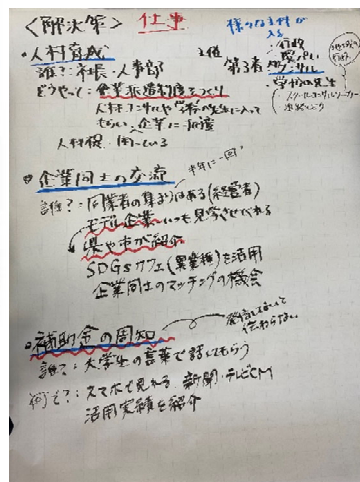
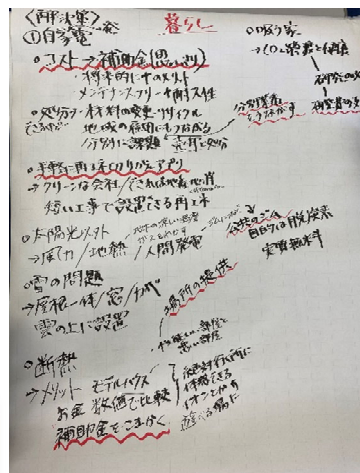


“住まいから考える豊かな暮らし”
“新しい時代をリードする企業”
について意見出しを行いました！



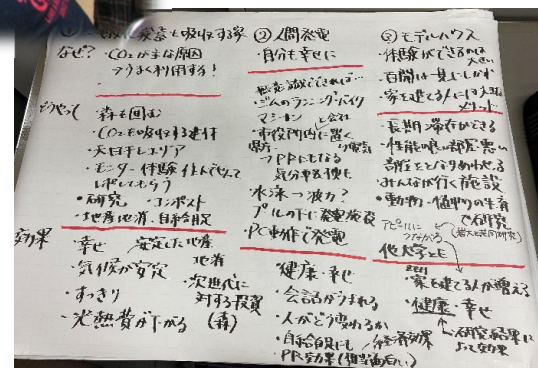
第3回 ～提言検討～

第2回で出した意見を深掘りしながら、提言の検討を行いました！



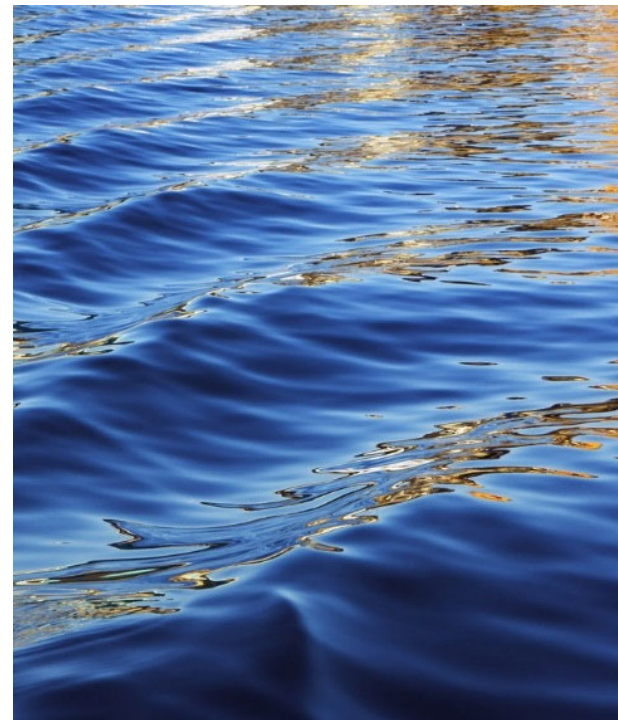
第4回 ～提言まとめ～

暮らし・仕事・行政の
各分野への提言を
まとめました！





提言報告
暮らし（家庭・住宅）



理想の暮らしと現状・課題

～2050年の理想の暮らし～

温室効果ガスを吸う家 再エネが当たり前

自然エネルギー100%

化石燃料使用率0！！

温室効果ガス排出
ゼロの暮らし

電気代が0円

暑すぎない生活
夏の夜はしっかり涼しい
エアコンが無い？！

～現状・課題～

- ・ ランニング、イニシャルコスト
- ・ 手軽に再エネに切り替えられない
- ・ 情報の集め方が分からない
- ・ 優先順位が高くない、心の余裕がない
- ・ 重要性やメリットが分かっていない
- ・ 断熱材の性能
- ・ 二酸化炭素濃度と健康影響
(健康への悪影響があれば取組が進む?)
- ・ 既得権益の問題
etc...

【参考】2015.7.22日本経済新聞「省エネ軽視で「住宅貧乏」30年で270万円のコスト差」
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO88459310U5A620C1000000/>

提言①

二酸化炭素を吸収する家！

■なぜ？

地球温暖化の主な原因がCO₂
CO₂を有効に活用したい！！

■どうやって？

- ・住宅を買ったら広葉樹を植える
- ・森で囲む
- ・CO₂を吸収する建材を使用
- ・天日干しエリア・コンポストの設置
- ・地産地消
- ・自給自足サーキュラーエコノミーの実現
- ・研究

■見込まれる効果

地球全体好循環 環境経済一体感 一人ひとりの幸福感
・持続可能性 ・幸せ ・気候が安定 ・すっきり ・光熱費が下がる ・次世代に対する投資（森）
自然も人間もすっきりglücklich

人間発電

～ルーティンワークを発電に！～

■なぜ？

脱炭素活動もしつつ、自分も幸せになれる！！

■どうやって？

無意識動作発電

- ・ジムの場合→ランニング・バイク
- ・プールの場合→水泳で波力発電
- ・オフィスや学校の場合→P C操作、立ったり座ったりなど

■見込まれる効果

- ・健康・幸せ、会話が生まれて精神的にも健康に
- ・斬新なアイデアで注目と金を集める経済効果
- ・筋肉で心も体も自然もモリモリに

エコファンタジアホーム ～新しい形の体験施設～

■なぜ？

体験ができるのは大きい、百聞は一見に如かず、家を建てる人には大きなメリット

■エコファンタジアホームとは？

今まで夢に見た住まいが現実になるオールインワンホーム
(発電から消費までが自己完結可能な家)

■どうやって？

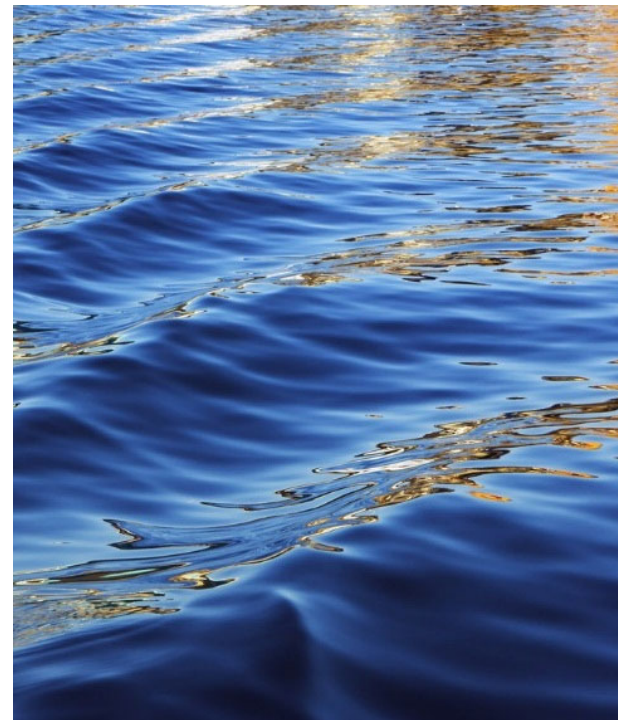
長期滞在ができる、性能の良い部屋と悪い部屋を隣り合わせる、みんなが行く施設の近くに設置する

■見込まれる効果

- ・ ZEH住宅を建てる人が増える
- ・ 心身ともに健康・ glücklich

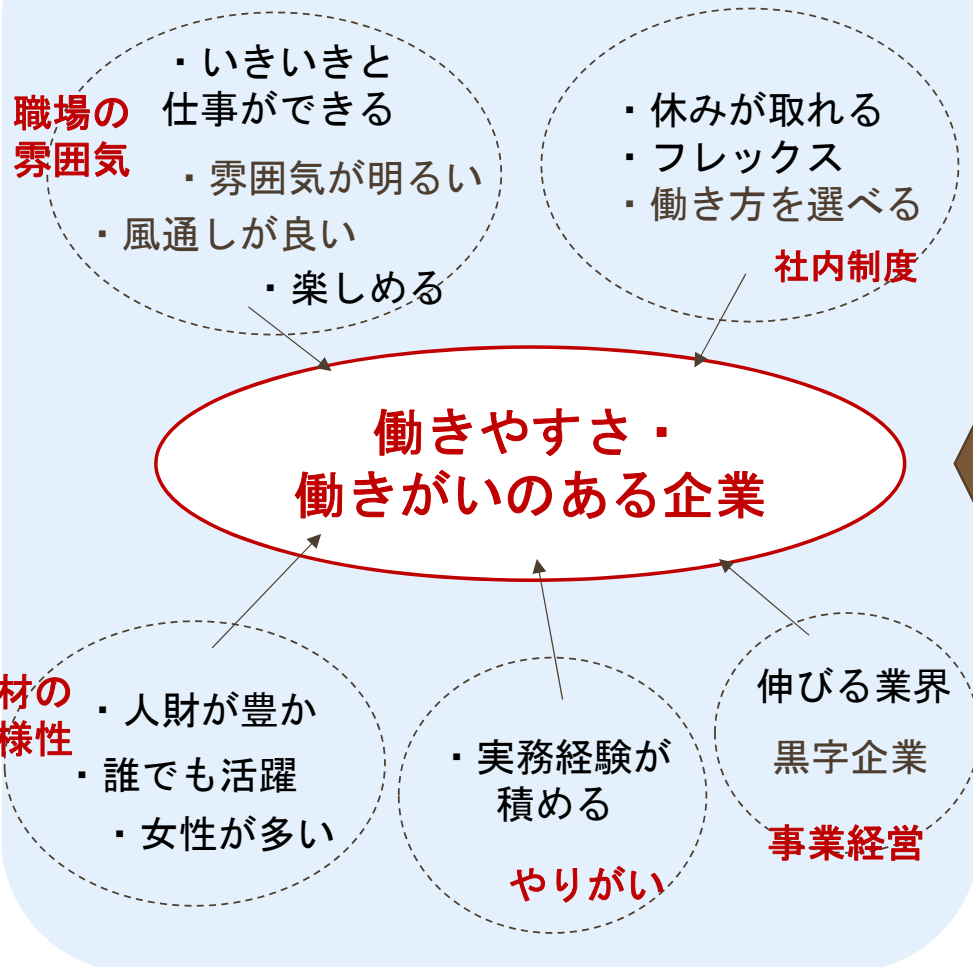


**提言報告
仕事（事業者・産業）**



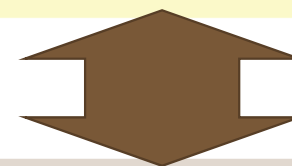
理想の姿と現状・課題

～魅力・将来性を感じる企業～



～脱炭素経営に取り組む企業の印象～

- ・ チャレンジ精神
- ・ 行動力がある
- ・ 職場環境が良好
- ・ 自発的
- ・ 社長の人柄が良い
- ・ 新人を大事にしている



～実現に向けた課題～

- ・ 完成された社内システムに新しい視点を取り入れる面倒さ
- ・ 経営者の年齢が高く、感度が古い
- ・ コスト
- ・ 失敗したときのリスク
- ・ 行き当たりばったりの経営
- ・ 人員不足
- ・ 補助金の申請手続きの面倒さ

【参考】「いわて脱炭素化経営企業等認定制度（いわて地球環境にやさしい事業所）」
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/kankyou/seisaku/jigyosho/1005672.html>

提言①

新時代！ ～脱炭素社会を生き残る企業へ～

■なぜ？

- ・脱炭素＝めんどくさいを解消！！

■どうやって？

- ・国、県が音頭をとる
 - CO₂削減のサステナブル製品しか作らせない
 - サステナブル製品をつくっている会社を認定し補助を出す
 - 販売店がサステナブル製品しか取引しない
 - 経済視点の専門家からもメリットを話してもらう

■見込まれる効果

- ・岩手県が一つの国のようになる
 - 資源が豊富
 - 世界から人材が集まって、人口減も解消！

提言②

経営者のマインドリセット！

■なぜ？

- ・ 経営者が思うめんどくさいを解消！！
- ・ 今の現状に満足している

■どうやって？

- ・ 優良企業の経営者が時代の変化についていけない企業に立入調査！
- ・ 意識改革キャンプ（非日常空間で実施）
→ 自社の排出量を自ら計算、発表してランキング付けなど

■見込まれる効果

- ・ 新卒者のU、Iターン（働きたいと思える岩手）
- ・ 新分野への発展
- ・ 楽しく仕事をする大人を見て子供に良い影響を与える（付与効果）

提言③

シフトチェンジ！ ～人財確保と知識共有～

■なぜ？

- ・ 脱炭素化の情報のアップデート
- ・ 視野や知見を広げる、若い人の新鮮な意見がほしい

■どうやって？

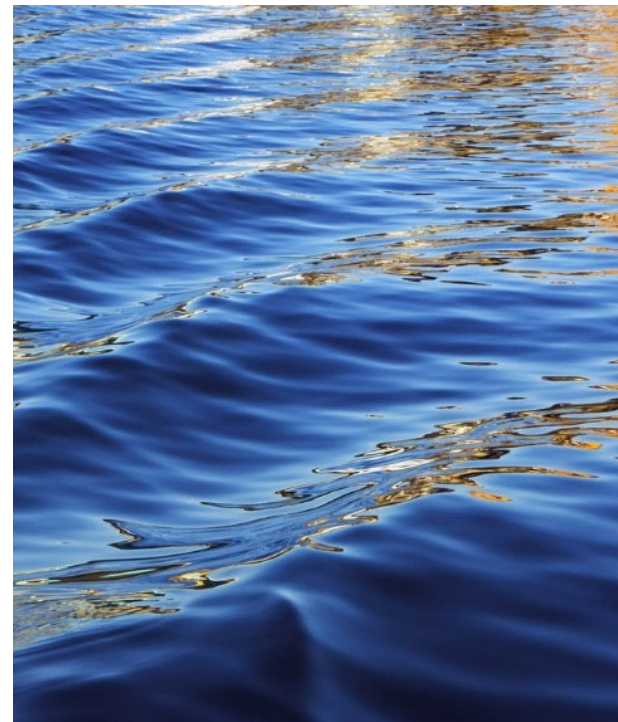
- ・ 他の企業や学生へマッチングの機会を提供
→ 企業等で集まる場所かつ非日常空間で開催
- ・ 学生インターンシップとの連携

■見込まれる効果

- ・ 自発的に次の機会（サードプレイス）が生まれる
- ・ イノベーションが生まれる
- ・ 人材確保にもつながる
- ・ 脱炭素に詳しい人材の育成



行政



行政の脱炭素シフト 現状と課題

～行政に支援してほしい企業～

- ・ クリーンエネルギーを利用している
- ・ 先進的な取り組みをしている中小企業
- ・ 自社のHPなどで補助効果をPRしてくれる
- ・ 社員の幸福度が高い
- ・ 正直な企業（透明性）

～支援にふさわしくない企業～

- ・ 脱炭素に取り組んでいない、実績がない
- ・ 時代に逆行している、CO₂を大量排出している、環境に悪い製品を製造している
- ・ 補助金の不正受給をしている
- ・ 申請と異なることをしている

～行政の支援策の周知・PRに係る課題～

- ・ 企業にとって脱炭素経営のイメージが湧かない
- ・ 取り組みたいが、何をしたらよいか分からない企業を後押しする必要性
- ・ そもそも補助金があることを知らない人が多い
- ・ 補助金の内容が難しく、理解できない
- ・ 補助金のメリットが分かりにくい

提言①

グリーン企業に補助金を！

■なぜ？

- ・ 先進的に脱炭素の取り組みを行っている企業を後押ししてほしい。
- ・ 正直で透明性のあるクリーンな企業を応援してほしい。

■どうやって？

クリーンエネルギーを調達している企業や脱炭素の取り組みをしている中小企業に対しては、すべての補助金を上乘せする。

■見込まれる効果

- ・ さらに前向きな投資がしやすくなる。
- ・ その先に続く企業が出てくる。

提言②

補助金をポップに！

■なぜ？

- ・補助金の制度があることを知らない人が多い。
- ・メリットが伝わっていない。
- ・申請方法が分かりにくく、使いづらい。

■どうやって？

- ・補助金の名称変更 → 「脱炭素応援金」 など
- ・申請書類の書き方講座
- ・書類づくりを請け負ってくれる企業を県や市町村が紹介
- ・補助金を受けた企業は、補助効果を自社HPでPRしてもらう

■見込まれる効果

補助金の利用率アップ

→脱炭素に取り組む県民や企業が増える！

提言③

ビジネスレシピ公開！

■なぜ？

- ・ 脱炭素経営のイメージをわきやすくする
- ・ 何をすればよいか分からず、一歩目が踏み出せない企業を後押し

■どうやって？

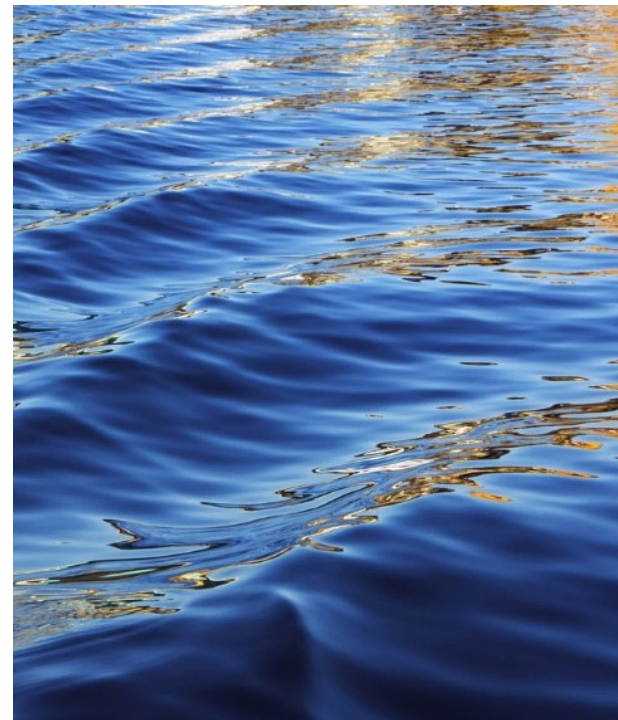
- ・ お金を掛けずに手軽に取り組める段階から設備更新が必要な段階まで、いろいろな企業モデル（ビジネスレシピ）を作る。
- ・ 脱炭素に取り組んだメリット、デメリット、必要なコストとともに提示する。

■見込まれる効果

- ・ 前例が分かり、企業が安心して脱炭素経営に取り組める
- ・ 次々に取り組む企業が増える



まとめ



県民会議のみなさまへのメッセージ

このような機会を与えて頂きありがとうございました。
回を重ね、意見を集約することによって、私たちの
脱炭素に対する意識が向上しました。



私たちが期待すること

- ・ 県民のポテンシャルアップ！
- ・ 大人も楽しむことで子供たちの希望に！
 - ・ 社会環境の向上！
 - ・ オールインワンいわて！
 - ・ 脱炭素で日本一！



ご清聴ありがとうございました

Special thanks

紫波町地球温暖化対策課 主任 三ヶ森誠 様
岩手道路開発株式会社 代表取締役 田村昭徳 様
株式会社エコ・プラン 主任 野村裕紀子様

